

経営協議会議事要録（第84回）

日時：令和5年3月22日（水）12時58分から14時40分

場所：岩手大学事務局第一会議室及びオンライン会議

磯田文雄	委員（花園大学 学長）
小野昭男	委員（小野食品(株)代表取締役）
榎野信治	委員（(株)テレビ岩手代表取締役社長）
國井秀子	委員（芝浦工業大学客員教授）
澤藤隆一	委員（一祐会電気電子情報科会東京支部相談役）
田口幸雄	委員（(株)岩手銀行代表取締役会長）
千田ゆきえ	委員（(株)千田精密工業代表取締役）
八重樫幸治	委員（岩手県副知事）
小川智	委員（学長）
藤代博之	委員（理事（総務・戦略企画担当）・副学長）
喜多一美	委員（理事（教育・学生担当）・副学長）
水野雅裕	委員（理事（研究・地域連携担当）・副学長）
佐々木強	委員（理事（財務・労務担当）・事務局長）
加藤裕一	委員（理事（経営企画担当））

陪席者：比屋根哲（副学長(総合科学研究科・生涯学習担当)）、藪 敏裕（副学長(国際連携担当)）、海妻径子（副学長(ダイバーシティ・環境マネジメント担当)）、山本欣郎（副学長(情報統括・図書館担当)）、阿部 健（監事）、下田栄行（監事）、吉澤和弘（顧問）、横山英信（人文社会科学部長）、境野直樹（教育学部長）、八代 仁（理工学部長・理工学研究科長）、伊藤菊一（農学部長）、木村賢一（連合農学研究科長）、村上賢二（獣医学研究科長）、山口敬一（学務部長）、瀧田秀樹（研究・地域連携部長）、佐藤美樹（法人運営部長）、小野寺学（法人運営部次長）

議事に先立ち、前回議事要録について原案のとおり確定することとした。

議 題

1. 国立大学法人岩手大学役員等体制について

学長から、国立大学法人岩手大学役員等体制について諮る旨が述べられ、次いで、資料に基づき、「副学長（財務・労務担当）・事務局長」の任命及び山本副学長の役職名を変更する旨の説明があった。

審議の結果、原案のとおり了承された。

なお、学長から、本件については3月24日開催の教育研究評議会の議を経て、決定する旨の付言があった。

2．令和5年度国立大学法人岩手大学予算案等について

学長から、令和5年度国立大学法人岩手大学予算案等について諮る旨が述べられ、次いで、佐々木理事・事務局長から、資料に基づき、予算編成方針及び学内配分予算案の説明があった。光熱水料をはじめとする物価の高騰等による支出増加分を確保するため、人件費の抑制や学長裁量経費からの補填、予算措置をしない事項もあり厳しい財政状況であるが、重点事項には要求額を踏まえた配分をしたとの報告があった。

審議において、人件費の削減、収入を増やすための方策等に関して意見交換が行われた。

審議の結果、原案のとおり了承された。

なお、学長から、本件については3月24日開催の役員会の議を経て、決定する旨の付言があった。

3．その他

なし

報 告

1．国立大学法人岩手大学資金運用管理規則の制定について

佐々木理事・事務局長から、資料に基づき、文部科学大臣へ申請していた「業務上の余裕金の運用にかかる認定」の通知があり、寄附金などの自己収入を財源とするため実際の運用はまだ先になるが、国立大学法人岩手大学資金運用管理規則を制定し、令和5年4月1日から施行するとの報告があった。また、令和4年度の資金運用計画（実績）について説明があり、資金全体を見ながら運用の幅を広げることを検討していきたいとの付言があった。

2．学務関係等報告について

喜多理事・副学長から、資料に基づき、学生の課外活動、学生表彰及び令和5年度入試の実施状況（学部・大学院）について報告があり、受験生の確保等に関して意見交換が行われた。

3．その他

なし

意見交換：「先導的研究の取り組みについて」

学長から、資料に基づき、先導的研究の取り組みについて、本日は、本学教員の研究内容について紹介する旨が述べられた。

次いで、水野理事から、2名の教員の専門・研究内容等について紹介があり、各教員からの説明後、学外委員と種々質疑応答及び意見交換がなされた。

理工学部 システム創成工学科 佐々木 誠 准教授「口腔領域における歯工連携」

農学部 応用生物化学科 山田 美和 准教授「ブルーカーボンの海藻を原料とした微生物によるバイオプラスチックの合成」

最後に、学長から、本会議を閉会する旨が述べられ、次回は令和5年6月28日（水）に開催することが述べられた。